

編集 後記

暖かい春の訪れが待ち遠しい季節となりました。

本年1月17日は阪神・淡路大震災から25年目の日となり、メディアでも多くのトピックスが取り上げられました。改めて災害の恐ろしさと傷痕の深さを感じています。本号の特別論文は、阪神・淡路大震災以降の大震災の支援に当たった専門家が行った研究を振り返り、災害時のメンタルヘルスと自殺予防に資する留意点がまとめられています。様々な支援が必要となる現場で「危機的な状況であるほど、なじんだ手段しか使えない。」という著者らのメッセージは、災害時にどのような活動ができるか、ということを実践から考え、準備する必要性を私たちに投げかけています。

3編の原著論文のうち1編は、孤立しがちな子育て世代の親の家族エンパワメントを評価する質問票の開発に関する研究です。他2編は高齢者の健康に関する研究で、1編はフレイル予防におけるソーシャルキャピタルの重要性を、もう1編は前期高齢期の段階からフレイル予防と生活習慣病予防・改善を図ることが自立喪失の低減につながることを報告しています。また公衆衛生活動報告では、犬の多頭飼育事例に対する多機関連携の取り組みが紹介されています。これらはいずれも、子育て世代、高齢者、幼児を含めた全ての世代が同じ地域に住み、家族や近隣住民、行政に支えられて生活していることを認識させられる内容です。自分自身、地域住民の一人として、社会的弱者・困窮者に対して何ができるのか、また研究者の一人として、公衆衛生に関する研究活動を通してどのような貢献ができるのかを改めて考えさせられました。是非、ご一読いただければと思います。

(大塚 礼)

次号予告 (第67巻・第3号)

論 壇

有料調査票を開発する際の利益相反と倫理
.....西條泰明

原 著

地域在宅高齢者における食品摂取多様性と栄養素等摂取量、食品群別摂取量及び主食・主菜・副菜を組み合わせた食事日数との関連
.....成田美紀, 他

業種別にみた職場における受動喫煙状況
.....五十嵐彩夏, 他

地域包括ケアシステムにおける日常生活の互助に対する意識とその関連因子：宮前区民の暮らしを豊かにするためのアンケートより
.....本橋隆子, 他

資 料

高齢者のジョギング・ランニング活動とQOLに関する一考察
.....中野隆之